

父 ダノンスマッシュ
メス 鹿毛 2024年4月29日生まれ (善) 橋本牧場



ダノンスマッシュ
鹿毛 2015年

ピアノアールの24
メス 鹿毛 2024.4.29

ピアノアール
鹿毛 2012年

ロードカナロア 鹿毛 2008年	キングカメハメハ	Kingmambo *マンファス
	レディブラッサム	Storm Cat *サトガデュー
*スピニングワイルドキャット Spinning Wildcat (USA) 栗毛 2009年	*ハードスパン Hard Spun	Danzig Turkish Tryst
	ハリウッド ワイルドキャット Hollywood Wildcat	Kris S. Miss Wildcatter
ブラックタイド 黒鹿毛 2001年	*サンデーサイレンス Sunday Silence	Halo Wishing Well
	*ウインドインハーヘア Wind In Her Hair	Alzao Burghclere
ピアノシンフォニー 鹿毛 2007年	*ストラヴィンスキー Stravinsky	Nureyev Fire the Groom
	*ピュアブラウン Pure Brown	Indian Charlie On the Hook

Mr. Prospector 5S×5S, Northern Dancer 5S×5D

母 系

母ピアノアール(12 ブラックタイド) 3勝。本馬は第6仔。産駒
シュヴノアール(18 牝 鹿 *マクフィ)北海道(公)1勝, 南関東(公)1勝
シェリノアール(19 牝 鹿 ビッグアーサー)北海道(公)1勝
フークシャイニー(23 牝 鹿 *フォーウィールドライブ)未出走
祖母ピアノシンフォニー(07 *ストラヴィンスキー)南関東(公)4勝。産駒
コクスイセン(牡 ブラックタイド)南関東(公)1勝, 中央3勝, 雅S
エトワールジェンヌ(牝 ブラックタイド)1勝, 兵庫(公)1勝
ビルトインアディ(牝 *クリエイターII)入着, 佐賀(公)6勝
ピュアアモーレ(牝 マツリダゴッホ)入着, 南関東(公)3勝。産駒
エブリモーメント(牡 *ベストウォーリア)2勝, ⑧
ワイドクリーガー(牡 サトノクラウン)1勝, ⑧
ピュアセレンティー(牝 ブラックタイド)北海道(公)1勝, 南関東(公)4勝
スリーシンフォニー(牡 スマートファルコン)東海(公)2勝
曾祖母 *ピュアブラウン(01 Indian Charlie)加国産, 2勝, ベゴニア賞, クイ
ンC-JPN3 4着, フラワーC-JPN3 4着, 南関東⑧入着, 関東オークス
-JPN3 3着。産駒
ピュアオパール: 2勝, カンナS-OP, 南関東⑧入着, 関東オークス-JPN2
2着
四代母オン ザ フック On the Hook(95 Phone Trick)北米入着。産駒
アフリートトリック Afleet Trick:北米1勝
五代母ヴィクトリアス ガール Victorious Girl(84 Raise a Man)北米1勝。産
駒
ヴォルプテュアス Voluptuous:北米2勝, La Habra S-L 2着。**ビッグ ス
コア** Big Score (Kindergarten S-L)の母
インパッション Impassion:北米1勝, Colleen S-L 3着。**ワープリング**
Warbling(インサイド インフォメーション S-G2)の母, **ミセス マクド
ウーガル** Mrs McDougal(レイク ジョージ S-G2), **トゥー ゴースツ**
Two Ghosts(グレイ S-G3)の曾祖母
ミズ ベティグレイス Miz Betty Grace:不出走。**インディアン グレイシ**
— Indian Gracey(California State Fair Sprint H-L)の母



母の父

ブラックタイド
早来産、3勝、スプリングS-JPN2
(1800m)、若駒S-OP(2000m)。
主な産駒 キタサンブラック(年度
代表馬2回、ジャパンC-G1)、カム
ニャック(オークス-G1、ローズ
S-G2、フローラS-G2)。母の父と
してタマモブラックタイ(ファルコ
ンS-G3)、ハビレ(京浜盃-Jpn23
着、羽田盃-Jpn14着、東京ダービー
-Jpn15着)、ティエムユメキュウ
(ひまわり賞-OP2着)、サンロアノー
ク(かきつばた記念-JPN35着)、
マリノアズラ(阿寒湖特別)を出す

CHECK POINT

父ダノンスマッシュはその父ロードカナロアに戦績は似ているものの、馬体は少し違い、比較するとやや小柄で筋肉量も少なめ、お尻も小さく後ろ脚は短めです。それでも香港含めG1を2勝できたことは、それだけ筋肉の質が良かったと言えるでしょう。母はダートで3勝していますが、芝でも入着があるように、身体に柔らかみがあり、典型的なダート馬の特徴ではないです。本馬は父に似て身体のメリハリはありませんが、セリのパドックでは歩くのが速く、その動きの良さが目立っていました。この父の牝駒で1000万円を超えるとは思わなかったですが、この馬だけは譲りたくなかったので少々高くても競り落としました。芝のマイルでの活躍を期待します。

